会　議　録

会議の名称	令和６年度第２回飯塚市国民健康保険事業の運営に関する協議会
開催日時	令和７年１月２３日（木）　１３：３０～１４：３０
開催場所	飯塚市役所　本庁７階　第１・第２委員会室
出席委員	吉田委員、脇田委員、上田委員、新開委員、肘井委員、田中委員、 齊藤委員、藤浦委員、光根委員、上瀧委員、八尋委員、山本委員
欠席委員	白土委員
事務局職員	市民環境部：長尾恵美子 医療保険課：鐘ヶ江孝二、佐藤幸代、永水真貴、安陪聡太朗 税務課　　：松本日出登、實藤利依 健幸保健課：橋本裕司、片山規子
会議内容 事務局	１　開　会 ２　議　事 （１）　令和６年度国民健康保険特別会計決算見込みについて ➢ 歳入総額及び歳出総額は、それぞれ 136 億 6,621 万円。 ➢ 歳出総額のなかには、約 663 万円の基金積み立て分を含む。 ➢ 令和５年度の返還金等を控除した実質単年度収支は、約１億 7,692 万１千円の赤字。 ○質問及び意見なし （２）　令和 7 年度国民健康保険の税率について ➢ 令和 4 年度、5 年度の収支、及び令和 6 年度、7 年度の収支見込みをもとに、令和７年度の税率を検討した。 ➢ 令 4 和年度決算において、1,488 万円の単年度黒字、令和 5 年度決算において、1 億 6,167 万 9 千円の単年度赤字、合算で 1 億 4,679 万 9 千円の赤字。 ➢ 令和 6 年度決算見込で 1 億 6,692 万 1 千円の単年度赤字、令和 7 年度決算見込で 9,489 万円の単年度赤字、合算で 2 億 6,181 万 1 千円の赤字の見込み。令和 4 年度、5 年度の収支（決算剰余金）を合わせると、4 億 861 万円の赤字の見込みとなるが、国民健康保険給付費等準備基金から補てんすることで、保険事業の運営を保持することは可能であり、令和７年度については税率改正を検討する特別な事情はないと判断し、税率を据え置くことを提案。

	➢ 子ども・子育て支援金制度の創設について、国民健康保険を含む全ての医療保険者が国に支援納付金を納付する仕組みが令和８年度から始まる。 ○質問及び意見なし （３） 令和６年度特定健康診査等の実績見込みについて ➢ 令和５年度特定健康診査の受診率は、43.0%。国の目標である受診率 60%には届いていないが、令和３年度からは着実に増加している。 ➢ 令和６年度特定健康診査の受診率の目標値は、国の目標に合わせて 60%にしている。令和６年 12 月末時点の受診率は令和５年度の同時期と比較して 0.8 ポイント上昇の 33.0%。 引き続き、電話やはがきによる受診勧奨の他、医療情報収集事業や医師会・事業所等、関係機関の皆様のご協力のもと受診率の向上に努める。 ➢ 前回の運協での意見（交通手段の確保の検討）について 今後の課題として、市のコミュニティ交通を活用し、運行している会場の優先使用や、発着時間帯と受診時間の調整等、関係機関と更なる協議・調整を進める。
肘井委員	○質問 受診者に対してインセンティブとしてのポイントはあるか
事務局	⇒回答 特定健診受診者には健幸ポイント事業のポイント付与、また継続受診者には次回無料で受診できることがインセンティブになっている。
肘井委員	○質問 「子ども・子育て支援金」について、国民健康保険、協会けんぽ、健保組合、共済組合で、それぞれ金額が違う理由は何か。
事務局	⇒回答 まず、全体の額約 1.3 兆円を後期高齢者とそれ以外に按分し、後期高齢者以外分を国保と被用者保険の加入者数により按分する。このうち、被用者保険分を協会けんぽ、健保組合、共済組合等の総報酬により按分し、それぞれ試算しているため、金額が違っている。

肘井委員	○質問 「子ども・子育て支援金」の目的は何か
事務局	⇒回答 国の資料より「企業や高齢者も含めた全世代・全経済主体から拠出いただくことを踏まえ、支援金の使途としては、医療保険において、これまでも出産を起点とした給付が行われてきたことを踏まえつつ、事業主にも拠出をお願いすることとなるため、対象者が広く切れ目のない支援を実現する制度に充てることとし、児童手当など全国共通の現金給付を中心とし、加えて、こども誰でも通園制度については、全国で利用要件に該当するすべての方へのサービス提供が行われるものとしています」
	（4）　その他
事務局	●　飯塚市国民健康保険マイナ保険証利用促進等について ➢　ホームページや市報を活用した周知、個別周知、マイナ保険証登録支援を実施。 ➢　令和 6 年 12 月末時点のマイナ保険証の登録率は 61.8%、利用率は 23.2%。 ➢　今後も、国保被保険者が安心して医療機関を受診できるよう周知を行い、医療機関関係者とも連携し利用促進に取組む。
新開委員	○質問 医療機関で顔認証ができない等のマイナ保険証利用に関するトラブルがあっているか。また、マイナ保険証の登録解除について。
事務局	⇒回答 顔認証ができない等の報告はあっているが、その際は、マイナンバーカードと被保険者証を提示し、通常通り受診していただく対応を取っている。登録解除は令和 6 年 11 月末時点で国民健康保険で 9 件となっている。
新開委員	○意見 基金があるから、基金を取り崩して税率を上げないという考え方は、今後変えていくべきではないか。
事務局	⇒回答 県の提示する標準保険料率を参考に、令和 8 年度開始の子ども・子育て支援金の状況も見ながら、検討していきたい。

事務局	●　令和７年度の協議会については、８月下旬に第１回目を予定。 ３　閉　会
会議資料	令和 6 年度第 2 回飯塚市国民健康保険事業の運営に関する協議会資料 （資料 1）令和 6 年度国民健康保険特別会計決算見込みについて （資料 2）国民健康保険税の税率について （資料 3）令和 6 年度特定健康診査の実施について（速報） （当日配布資料 1）飯塚市国民健康保険マイナ保険証利用促進等について （当日配布資料 2）子ども・子育て支援金制度の創設について
公開・非公開の別	①　公開　　２　一部公開　　３　非公開 （傍聴者　０名）
その他	